

---

# 真剣で私に恋しなさい! I f

九鬼家従者部隊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真剣で私に恋しなさい！ If

### 【Nコード】

N5451BA

### 【作者名】

九鬼家従者部隊

### 【あらすじ】

もしも椎名京を救ったのが大和達ではなかったら？

もしも壊れた榊原小雪に出会ったのが葵達じゃなかったら？

二人の少女を救った男、水瀬悠。

主人公の悠の日常を記した物語、もしかしたらの、Ifのお話。

## 設定等

この作品について

オリジナル主人公です、最強では有りませんが強者ではありません。オリ展開も多く含みますし原作と比べて特に大きな相違点がいくつかあります。

？『京を助けたのは大和ではなく主人公』

？『壊れた小雪と知り合つたのは葵達よりも主人公が先』

です、この二つが原因で他にも原作と異なる部分が多くあるので注意して下さい。

また、もう分かりますと思いますがメインヒロインはこの二人です・・・ハーレムです。

他のヒロインが加入する可能性もありますがまだ未定。

主人公と京・小雪の過去は作中で語られる予定ですがしばらく進んでからになります。

京が大和以外とかねーよw。小雪に手え出すな！という方は見ない方がいいです。

主人公紹介（公式サイト風）

名前

水瀬 悠

身長

186cm

血液型

B

誕生日	12月1日	射手座
一人称	俺	
あだ名	悠、悠君：e t c	
職業	川神学園2 - S在籍	
好きな食べ物	美味けりや何でも	
好きな飲み物	コカ・コーラ（決してペプシではない）	
趣味	武道の鍛錬（特に精神鍛錬）、京、小雪と遊ぶ。	
特技	集中力の要るもの全般	
武術	水瀬流格闘術	
大切なもの	両親、京、小雪	
苦手なもの	風間ファミリー、ペプシコーラ	
尊敬する人	両親、コカ・コーラ社の社員。	

#### 備考

黒髪で短髪、さわやかフェイスのイケメン野郎。  
長身で筋肉質、岳人の様なムツキムキではなく引き締まった痩身。  
ごく普通の一戸建てに京、小雪と三人暮らし。両親は海外のテンプレ主人公。

作者の妄想の産物の超駄文ですがよろしくやってくださいm)

——) m

一話 一日の始まり(前書き)

作中の~~~~~は区切りです。

## 一話 一日の始まり

夢を、見ていた

懐かしい夢、忌わしくもあり、人生の転機でもあったと思う。

うつむいて、ただ耐えて、耐えきれず涙を流す少女、それを見て俺は

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

「悠」

ん・・・？誰だ・・・？

「悠、起きて」

起きる？・・・ああ朝か。

「悠ってば」

もう少し待ってくれ・・・眠いんだよ、まだ。

「起きないんなら・・・」

なんだ？俺の鉄壁の眠りへの決意を消せるとでも？

「朝フエ」



惚・れ・ら・れ・た

「いつ食べてくれてもいいのに……もちろん性的な意味で」

「一線は越えんよ、一線は」

スキンシップは堪能するがな！

「ちえ……このムラムラをユキにぶつける」

そういつて京は俺の隣で眠っている銀髪に近づいて

「せいっ！」

そいつが巻き込んでいた布団を勢いよく引っ張った。くるくると回りながらそいつはベッドから落ちて。

「みゃぶ！」

妙な声を上げて床に激突した……。痛そうだなー自業自得だが。

「いたたた」

「おはよ、ユキ」

「おひゃよー」

まだ喋り方がおかしい……。結構強く打ったのか寝起きだからなのか……。

「おはよーユウ！どーん！！」

密かに脳細胞を心配していた俺に効果音付きで抱きついてくる少女

ユキ。

水瀬家の同居人その2である。

「おはようさんユキ」

俺の胸に顔をうずめるユキの頭を撫でてやる、京が嫉妬するのでは  
どほどに。

「ユウの匂い」

ユキの京以上のメロンが押し当てられ思わず顔がゆるむ、ユキもま  
た京に負けず劣らずの美人・美少女だ。

こいつも京と同じく昔に色々あったのだが。

「早く食べないと余裕なくなるよ？」

「おう」

「はい」

思い出すのはまた今度で良いだろう、とりあえず今は飯だ。

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

2階の3人用の寝室から降りて一階のダイニングキッチンへ行くと  
テーブルの上に味噌汁・焼き魚といった定番料理が並んでいた。

「おいしそー！」

「だな、・・・京カスタムされてないし」

「おいしいのに・・・」

紹介しよう！京カスタムとはせつかく作った料理にやたら真つ赤な調味料（激辛）を振りかけ常人には食べれなくする京の超奥義だ！

（嘘）

「あれを美味しいと思えるのはお前だけだっつーの」

「うえーい・・・ボクも赤いのはやだー」

以前誤って食べた時の事を思い出してかユキは渋い顔をしている、  
当たり前前の反応だよな。

その後渋い顔のユキをからかったりしながら騒がしく食事を終えた  
俺たちは制服に着替え家を出た。

「今日も学生まっとうしますかね」

三人で並んで川神学園へと向かう、いつも通りの、愛しい愛しい、  
俺の日常が、今日も始まる。

一話 一日の始まり（後書き）

朝からハーレムです、腹立つね。

主人公と京達は同じ部屋で同じベッドで寝ています、これについても  
いづれ理由は語られます・・・まあそんな重要なところではありません  
せんが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5451ba/>

---

真剣で私に恋しなさい! If

2012年1月15日00時51分発行